

高等技術専門校評価システム<評価表>

熊谷高等技術専門校

機械科

評価項目		指標	評価	コメント
1 訓練内容 必要な技能・知識を習得させるための訓練内容が設定され、実施されている。	(1) 生活指導 あいさつができる、遅刻・欠席が少ないなど、生活指導が適切である	出席率 90%以上	(a) b c 出席率: 98.8% 【R4年4月入校生】 出席率: 92.0% 【R4年10月入校生】	(1) 生活指導 始業時と終業時は大きな声で挨拶、社会人として決まりを守る意識など、日々生活指導している。その結果を、訓練生が就職した企業にも喜んでいただけている。 (2) 訓練生満足度 訓練生により理解度の差が大きく、指導の難易度に対する満足度を上げる工夫が必要。指導者2名体制で、取り残さない指導を目指す。
	(2) 訓練生満足度 訓練内容に対し、訓練生の満足度が高い	満足度 90%以上	a (b) c 満足度: 75.7% 【R4年度平均】	
2 応募・入校状況 入校者が定員を充足している	(1) 応募状況 応募倍率が1.25倍以上である	応募倍率 1.25倍以上	a b (c) 応募倍率: 0.40 【R4年10月入校生】 応募倍率: 1.20 【R5年4月入校生】	機械系の仕事を目指し学ぶ人が少ない。また製造業は全体的に人手不足で、未経験者でも採用する企業もある。こうしたことから応募者の確保が困難になっている。ハローワークや高校のキーパーソンに集中的に広報するとともに、説明会にも積極的に参加している。令和5年4月入校では応募倍率、入校率とも改善があり、今後も積極的な入校促進に取り組む。
	(2) 入校状況 入校者が定員を充足している	入校率 100%	a b (c) 入校率: 40% 【R4年10月入校生】 入校率: 90% 【R5年4月入校生】	
3 就職状況 公共職業安定所、企業、関係機関等と連携を図り、雇用情勢の情報収集や訓練生に対する相談、指導等の就職支援がなされている	(1) 就職状況(確定値) 就職率が100%である	就職率 100%	(a) b c 就職率: 100% 【R5年3月修了生】	(1) 就職状況(確定値) 製造業の人手不足もあり、訓練生の人数を求人数が上回る状況である。しかし、年齢が上がると受入先が少なくなり、40歳より上の訓練生の就職支援で苦戦している。50歳を超える訓練生の入校も続いているので、引き続き企業を開拓する。 (2) 就職状況(追指導最終値) 令和3年度は耐震改修工事のため訓練を休止したため対象者がいない。 (3) 就職状況(訓練関連率) 製造業の人手不足もあり、全員が訓練に関連する職種に就職している。
	(2) 就職状況(追指導最終値) 就職率が100%である ※ 前年度修了者	就職率 100%	a b c 対象者なし	
	(3) 就職状況 訓練関連率(訓練を活かした就労率)が80%以上である	関連就職率 80%以上	(a) b c 関連就職率: 100% 【R5年3月修了生】	
4 資格取得状況 訓練科ごとに適切な資格取得目標が掲げられ、資格が取得されている	・資格取得状況 訓練科ごとに適正資格取得目標が掲げられ、資格が取得されている	受検者合格率 埼玉平均以上	(a) b c 普通旋盤3級合格率: 100% ①【R4年4月入校生】 普通旋盤3級合格率: 100% ②【R4年10月入校生】	受検者合格率 埼玉平均 ①R4前期: 87.7% ②R4後期: 60.0%

a: 優れている b: 良好である c: 改善を要する

総合評価	
<p>A: 優れている (B) 良好である C: 一部改善を要する D: 総合的な見直しを要する</p>	
<p>・7項目のうち4つの項目で指標を達成することができたが、応募・入校の2項目がいずれもC評価だったため、総合評価をBとした。 ・特に就職率と関連就職率については、デュアルシステムの強みでもあるため高いレベルを維持したい。 ・訓練生満足度では、指標を達成することができなかった。年齢も基礎学力も大きく異なる訓練生が集まっているが、習得度に応じたきめ細かな指導と就職支援を行い、更なる満足度向上につなげたい。 ・応募倍率と入校率は指標を下回りC評価となったが、令和5年4月入校に関しては改善も見られた。より多くの応募者を集められるよう、訓練生募集の広報としてハローワークの訓練担当者や高校の進路指導担当者を訪問する。訪問先ではキーパーソンを把握し、より効果的な応募者確保を目指す。また、製造業および専門校機械科に興味を持っていただけるよう、ハローワーク説明会や高校の職業説明会でのプレゼンテーションも継続する。</p>	